

『(一社)北海道高齢者向け住宅事業者協会』
2024年度第2回(通算第35回)理事会 議事録

(議事録作成:事務局 立花)

日時:2024年 7月25日(金)18:00~19:30

会場:各理事の事務所など(テレビ会議方式)

出席者:(理事)本見研介、石田幸子、田村友明、瀬戸いく子、山口将治、秋田谷徹、平井麻梨英
(顧問)本間和彦 (事務局)立花和浩

欠席者:(理事)磯部和弥、 ※敬称略

私は、本議事録を確認したことを証し、署名する。

議長 : 本見研介
(会長・理事、株式会社エムリンクホールディングス)

議事録署名人: 田村友明
(理事、SOMPO ケア株式会社)

議事録署名人: 平井麻梨英
(理事、株式会社ふれあいケアサービスホールディングス)

【会議次第】

- 1 議長選出
- 2 理事会定数の確認
- 3 議事録署名人の選任
- 4 報告事項
 - 1)会員数の現状報告
 - 2)協会の収支状況報告

5 協議事項

- 1) 会長、副会長の選出

【議事内容】

1 議長選出

- 定刻、理事会開催を宣言、会長決定まで事務局が進行を務める

2 理事会定数の確認

- 出席:本見、石田、田村、瀬戸、山口、秋田谷、平井各理事+本間顧問
定数8名中7名出席により、2分の1を超えているので理事会の成立を宣言

3 議事録署名人の選任

- 平井理事、田村理事を選任

4 報告事項(事務局より)

1) 会員数の現状報告

- ・今回は報告なし

2) 協会の収支状況報告

- ・今回は提出なし

5 協議事項

0) 各理事自己紹介

- ・総会を経て理事会の構成員が変わってからの初会合のため、各理事、新任顧問より自己紹介
(各位の発言は省略)

1) 会長、副会長の選出

- ・事務局:第33回理事会(2023年度理事体制)において、新会長には本見理事、副会長には現任の石田理事が引き続き務めていただくことで各理事の了解をいただいていたところですが、新体制となって改めてこの方向で良いか確認し、確定させていただきたい。

(特に各理事より異議無し)

- それでは、本見理事が新会長、石田理事が引き続き副会長ということで決定とさせていただきます。なお、

2) 新規活動委員会、企画広報委員会について

(事務局よりこれまでの新規活動委員会、企画広報委員会のこれまでの検討内容、活動について報告)

・本見会長: 委員会についてはこの理事の人数(8名)なので理事を各委員会に分けてやるのではなく、当分は各課題を理事会において検討を進め、ある程度検討が進んだ段階で委員会を設けても良いのではないかと?

・石田副会長: 事業者勉強会について従来、企画広報委員会で検討し、実施することでうまくいっているため、これまで通りが良いのではないかと? 新規活動に関しては、理事会全体で検討することが必要と考えるが...

・事務局: これまで、理事会、委員会の開催については事務局で発議し、開催してきたがそれもまずいので、今後は、会長、副会長あるいは理事の発議で開催すべきと思います。新体制になったこともあり理事会を定例化(2か月に1度程度)し、その中でこれまでの委員会の役割を理事会で考えていただければ、それはそれで結構と考えます。また、事業者勉強会についても今後は、テーマ・講師の交渉等もあるところまで理事がまとめることでお願いしたい。

・石田副会長: 理事会の定例化は必要ではないかと? 事業者勉強会をはじめセミナー・イベントの会員、会員外への周知については郵送料の高騰もあるのでフライヤーの郵送からメールまたはファクスに転換してはどうか?

・本見会長: それでは理事会は定例化することとし、当分の間、毎月最終週の木曜日 18時～Zoom 開催でどうでしょう

・田村副会長: 私としては、本見会長の提案の理事会の定例化で結構です。不定期開催だと事務局の日程調整も大変ですし...

・本見会長: それでは理事会は定例化し、毎月最終週の木曜日 18時～Zoom 開催とさせていただきます。よって次回以降は、8月29日、9月26日、10月31日、11月28日、12月26日の開催とします。

次回の検討課題として、①事業者勉強会の本年度のたたき台の準備を田村副会長にお願いします。

・事務局: 次回の検討課題②として「相談員養成研修」、「事業者・管理者研修」の欠員となっている講師が判る資料を作成し、理事各位に事前にお送りしますので、欠員の講師候補、あるいは別のカリキュラム案を検討いただくことでいかがでしょうか?

・本見会長: それでは2研修については、事務局で検討資料作成、送付をお願いします。

ありがたい。

・平井理事: 困っていることとして、職員が集まらない。また、最近の利用者のニーズに合った職員の育成が課題となっています。また、ICTの導入による効率化、若年層に介護に興味をもっていただくにはどうした良いか？当社では、タイミーを導入しているが短時間での働き方も可能とすれば人が集まるのか？そのあたりを高住協で検討いただければありがたい。

・田村理事: ソリューション(課題解決)的な事業ができないか？会員向けに高住協として高齢者の住まいの課題(例えば後継者問題、利益率が下がっている事業の収益構造の見直しなど)の解決方法を協会提供できないか、さらに、その事業を協会の収益化につなげられないかと考えている。

・秋田谷理事: 本見会長が提起した居住支援法人をろく舎で検討した経緯があるができなかった。低所得の高齢者も多いので、ろく舎では無料低額宿泊所を4ヶ所ほど運営開始しているが、居住支援法人と提携した、「セーフティネット住宅」に移っていただいたこともある。「セーフティネット住宅」には介護事業者から訪問介護サービスを外付けで提供しているが、住宅そのものには人的な配置がなくとも運営できている。高住協でその居住支援法人指定を受けられるなら、いろいろな展開ができるのではないかと考えている。

・瀬戸理事: (ネット不調で発言できず)

・石田理事: 一点報告したい。定着支援センターから高住協から専門委員の依頼があり、勤めている。全国大会をZoomで今月31日(水)開催し、パネラーとして出席予定なのでお知らせいたします(一般参加は不可)。

・本見会長: 各理事より本年度の新規事業について提案をいただきました。次回の理事会において検討をさらにさせていただきます。居住支援協法人、セーフティネット住宅に関しては、私が資料を集めてもう少し詳しくご説明します。

ソリューション事業に関しては、田村副会長に資料含めてもう少し詳しく、ご説明、ご提案をお願いします。

また、ICTに関しては理事のどなたかに事例など教えていただければありがたい。

なお、定例理事会についてはできるだけ、1時間程度で終わるようにしたいと考えています。

また、対面での理事会開催も検討します。

全体を通して本間顧問よりアドバイス、ご意見ををお願いします。

・本間顧問: 高住協も団体としての魅力づくりがキーポイントです。また、各理事からもご発言があったように、ICTの活用、マンパワーの確保等、道内でもさまざまな事例があります。

・平井理事: 次回 8 月の理事会には予定が入っていて欠席となりますが、今後理事会の出欠などの意思表示はどのようにした良いでしょう

・事務局: Zoom の URL を開催 1 週間前にはお送りしますのでその返信にてお知らせください。なお、全員への返信としていただき、情報を理事全員に共有していただけるようお願いいたします。

6 次回開催について

日時: 8 月 29 日 (木) 18:00~

場所: Web 会議方式 (予定)

議題: ① 事業者勉強会のテーマ・講師

② 「相談員養成研修」、事業者・管理者研修」の講師、カリキュラム

③ 本年度新規事業の検討

以上で第35回理事会を終了した。